

各 位

社会人が東京藝大で「学び直す」4ヶ月のオンライン授業
「現代美術キュレーション概論」受講生募集 (8/18(月)正午募集開始)
キュレーター・難波祐子、インディペンデント・キュレーター青木彬らと
キュレーションとはどういうものなのか本格的に学びたい/最新状況を知りたいあなたに

グローバル時代の美術館、国際展、芸術祭、アートプロジェクトの「キュレーション」を概観して
学芸員やアートマネージャーのリスクリング、アーティストのキャリアシフトの機会に活かそう

2025年度 東京藝術大学
キュレーション教育研究センター

開講授業ラインナップ

すべての科目が、本学学生対象の授業に
社会人(一般の方はどなたでも)が参加できる
「社会共創科目(公開授業)」です。

キュレーション教育研究センター
Center for Curatorial Studies Geidai

通年開講

前期開講

後期開講

- ・ 展覧会設計演習
- ・ 演習:アートプロジェクト したまちフィールドワーク
リニューアル
- ・ 芸術環境創造論 I
リニューアル
- ・ 現代美術キュレーション概論
- ・ 社会包摂のためのアートプロジェクト:音楽×身体表現×福祉I (理論編)
リニューアル



TOKYO GEIDAI

日頃より東京藝術大学の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本学では、2023年度より藝大生対象の正規授業を社会人(一般の方はどなたでも)が受講できる特別科目「社会共創科目(公開授業)」を開講しています。キュレーション教育研究センターはそのハブとして、2025年度は5つの科目を開講するうち、来る8月18日(月)正午より、後期開講のオンライン授業「現代美術キュレーション概論」の受講生募集をスタートする運びとなりましたので、お知らせ申し上げます。

「現代美術キュレーション概論」は、美術館での展覧会から街なかでのアートプロジェクトに至るまで、さまざまな形でアートと社会をつなぐキュレーションの実践について取り上げる講義で、学内外で活躍する12名の講師陣がオムニバス方式で登壇します。10月から1月までの全14回で構成され、授業内では藝大生と社会人が共に学ぶ機会を創出し、活発な議論を目指します。

ぜひこの機会をご利用いただきたく、ご案内申し上げます。併せて、本センター・本授業の周知にご協力をお願いできれば幸いです。今後ともご関心をお寄せいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

詳細：https://ccs.geidai.ac.jp/learn_with_us/

先輩修了生の声(抜粋、一部編集)：

先生方の熱意ある授業に呼応するように、受講生から短時間でするとい質問が飛び交う、毎回の最後の30分のQ&Aがとても面白く、またたくさん刺激をもらいました。(2024年度受講生、30代・会社員)

毎回異なる講師の先生からお話を聞くことができたおかげで、アートへの関わり方に正解はなく、人の数だけあると知れたことも良かったです。(2024年度受講生、20代・美術館学芸員)

歴史系博物館に勤務しているため、作家が現存している現代アートとは随分手法がちがうと思っていましたが、授業内で紹介された事例をお聞きして、資料をどのように捉えて、定義して展示するかということは分野を超えて共通するものがあると感じました。(2024年度受講生、40代・博物館学芸員)

産休、育休中に受講しました。地方在住で、自分の時間もなかなか取れないなかで、東京藝大の第一線で活躍する先生方の授業が受けられることは代えがたい喜びでした。(2024年度受講生、30代・美術館学芸員)

「現代美術キュレーション概論」担当教員(キュレーション教育研究センター 特任准教授・難波祐子)より：

昨年度の授業では、美術館・博物館関係者はもとより、普段アートとは直接関係のない部署で働いているビジネスパーソンなど多様な受講生が熱心に参加されていました。現代美術は、私たちの少し先の未来を映し出す鏡です。現代美術をとりまく「キュレーション」の今を知ることで、明日を生き抜くためのヒントが得られるかもしれません。

2025 年度はゲストとして、新たに青木彬(インディペンデント・キュレーター)が登場！ 「現代美術キュレーション概論」

開講日時 | 後期 木曜 6 限 18:00~19:30

開講場所 | (一般の方) オンライン / (藝大生) 上野キャンパス 国際交流棟 GA 講義室

現代美術を取り巻くキュレーションは、近年の美術表現の領域横断化や、時代の変化に伴う美術館や展覧会のあり方の変遷によって、大きくその姿を変えています。本授業では、美術館での展覧会から、街なかでのアートプロジェクトに至るまで、さまざまな形でアートと社会をつなぐキュレーションの実践について、実際にそれぞれの現場で活躍している講師陣を迎えて授業を構成します。取り扱うジャンルも絵画や彫刻などの従来のアートに加えて、パフォーマンスや参加型・プロジェクト型のアート、領域横断的な協働型のアートなど広く紹介します。

第 1 回 | 10/2(木)

担当教員：難波祐子(キュレーション教育研究センター 特任准教授)
「イントロダクション：現代美術キュレーションの見取り図
—美術館、国際展、芸術祭、アートプロジェクト」

第 2 回 | 10/9(木)

担当教員：難波祐子(キュレーション教育研究センター 特任准教授)
「日本におけるキュレーションの変遷について：戦後から現在まで」

第 3 回 | 10/16(木)

担当教員：李美那(大学院美術研究科 教授)
「日本における Museum と Museum curator の関係と文脈
—変化する国際情勢の中で」

第 4 回 | 10/23(木)

担当教員：熊澤弘(大学美術館 教授)
「ミュージアム・コレクションの管理とキュレーション：東京藝術大学大学美術館所蔵の現代美術作品の事例を中心に」

第 5 回 | 10/30(木)

担当教員：鷺田めろ(大学院国際芸術創造研究科 准教授)
「国際展でのキュレーション：ヴェネチア・ビエンナーレ日本館を例に」

第 6 回 | 11/6(木)

担当教員：服部浩之(大学院映像研究科 准教授)
「協働プロジェクトのキュレーティング：異なる領域を架橋する芸術実践」

第 7 回 | 11/13(木)

担当教員：熊倉純子(大学院国際芸術創造研究科 教授)
「アートプロジェクトのキュレーション：日本のアートプロジェクトの変遷とその担い手について」

第 8 回 | 11/20(木)

担当教員：難波祐子(キュレーション教育研究センター 特任准教授)
「前半授業振り返り & 後半授業イントロダクション」

第 9 回 | 11/27(木)

担当教員：今村有策(大学院美術研究科 教授)
「グローバル時代のキュレーション：世界の現場から」

第 10 回 | 12/4(木)

担当教員：毛利嘉孝(国際芸術創造研究科 教授)
「ポスト/ウィズコロナのアートとキュレーション」

第 11 回 | 12/11(木)

担当教員：荒木夏実(美術学部 教授)
「歴史と向き合うキュレーション：人種・ジェンダー・帝国主義」

第 12 回 | 1/8(木)

担当教員：平諭一郎(未来創造継承センター 准教授)
「アーカイブとキュレーション：作品と資料とその再演」

第 13 回 | 1/15(木)

担当教員：相馬千秋(大学院美術研究科 准教授)
「領域横断するキュレーション：『パフォーマンス』を生成するキュレーション実践」

第 14 回 | 1/22(木)

担当教員：難波祐子(キュレーション教育研究センター 特任准教授)
+ 青木彬(インディペンデント・キュレーター)
「社会包摂とキュレーション」

※なお、授業は講師の都合により内容の変更が生じたり、順序が入れ替わる可能性があります。

■一般の方

定員 | 150 名(先着順)

受講生募集開始 | 2025 年 8 月 18 日 (月) 正午

受講方法 | 全 14 回のオンライン授業を、¥50,000 (税込) で受講できます (リアルタイムで配信予定)。

お申し込みフォーム | <https://forms.gle/meTaXWuXHwZpPx4k7>

【お問い合わせ】

東京藝術大学 キュレーション教育研究センター

※報道関係者の方は info-ccs@ml.geidai.ac.jp (広報：富山) までお問い合わせください※



東京藝術大学キュレーション教育研究センターは、歴史的、伝統的なキュレーションの概念や役割とともに、現代社会の課題を反映して多様化する「キュレーション」に取り組む教育と研究の場です。対話と協働を通して芸術と社会のさまざまな関係性を紡ぎ上げるキュレーションをはじめ、美術のみならず、音楽やパフォーマンス・アーツ、私たちのあるべき未来の姿をキュレーションするなど、領域横断的に人材の育成と研究に取り組みます。

※「展覧会設計演習」「音楽×身体表現×福祉」の申込・お問い合わせは「有楽町藝大キャンパス」事務局までお願いいたします。

(MAIL : info@yurakucho-geidai-campus.jp / HP : <https://yurakucho-geidai-campus.jp/>)



＼8/18 から同時に受講生募集スタート！共創的ウェルビーイングを考える授業／ 社会包摂のためのアートプロジェクト：音楽×身体表現×福祉Ⅰ（理論編）

開講日時：11/15(土)、11/22(土)、11/29(土)、12/13(土)、1/10(土)、1/17(土) 各日 13:30～18:30

※11/29(土)のみ午前開講の予定。※開講時間の詳細は WEB サイトをご確認ください。

開講場所：有楽町 YAU STUDIO[東京都中央区銀座一丁目 3 番先 東京高速道路北有楽ビル 1 階]

※11/15(土)、11/29(土)は、東京藝術大学

社会包摂の視点を大切にした芸術実践、特に自治体や福祉施設等と連携して行うアートプロジェクトの企画・運営について、背景理論や実例を参照しながら学ぶ授業。座学とワークショップを通して、クラシック音楽と身体表現を融合させた体験型プログラム「ムジタンツ」の活動を参考事例として扱うほか、現場で活躍する実演家や研究者等をゲストに招き、多角的な見地をもってアートプロジェクトを具現化するプロセスや意義について考えていきます。

申込・お問い合わせ：「有楽町藝大キャンパス」事務局

MAIL：info@yurakucho-geidai-campus.jp

HP：<https://yurakucho-geidai-campus.jp/>

▼2025 年度「社会共創科目（公開授業）」一覧▼

科目名	キーワード	授業曜日 (開講時期)	受講生 募集期間	定員	受講料
＼キュレーションの今を知りたい／ 現代美術キュレーション概論	#キュレーション #学芸員 #芸術祭 #美術館 #国際展 #アートプロジェクト #アーカイブ #文脈	10 月～1 月 全 14 回 毎週木曜 18:00～19:30	8/18(月)正午～ 8/31(日)18:00	(オンライン) 150 名	5 万円
＼2025 年度は理論編／ 社会包摂のためのアートプロジェクト： 音楽×身体表現×福祉Ⅰ（理論編） (有楽町藝大キャンパス)	#音楽 #ダンス #企画立案 #ワークショップ #こども #コミュニケーション	11 月～1 月 全 6 回 原則土曜 13:30～18:30	8/18(月)～ 10/3(金)	(対面参加) 20 名	5 万円
＼参加型音楽の現場にダイブ！／ 演習：アートプロジェクト したまちフィールドワーク	#アートプロジェクト #市民協働 #参加型音楽 #行政 #NPO #まちづくり	5 月～10 月 全 6 回 不定期開催	2025 年度 受講生募集は 終了しました	(対面参加) 10 名	無料
＼展覧会で社会とアートをつなぐ／ 展覧会設計演習 (有楽町藝大キャンパス)	#キュレーション #アーティスト #オフィス街 #企画立案 #マネジメント	5 月～11 月 全 15 回 原則土曜 10:00～13:00	2025 年度 受講生募集は 終了しました	(対面参加) 12 名	10 万円
＼レクチャー＆ワークショップで アートの現在地を探ろう／ 芸術環境創造論Ⅰ	#アートのパラダイムシフト #ワークショップ #アートプロジェクト	6 月～7 月 全 5 回 各回 13:00～18:00	2025 年度 受講生募集は 終了しました	(対面参加) 30 名 (オンデマンド) 50 名	5 万円

「社会共創科目（公開授業）」の取り組みは、日比野克彦学長が打ち出した「芸術未来研究場」構想の一つとして実施しています。

本学は、アートの礎である「いまここにあるものをイメージする力」をもとに、伝統の継承と新しい表現の創造のための教育研究機関であると同時に、様々なステークホルダーと共に社会を形づくる主体を目指し、「芸術未来研究場」を設置しました。

「芸術未来研究場」は、全学横断的に企業・官公庁・他の教育研究機関との連携を強化/推進する新たなプラットフォームとして6つの領域実践：[ケア・コミュニケーション] [アート DX] [クリエイティヴアーカイヴ] [キュレーション] [芸術教育・リベラルアーツ] [アート×ビジネス]を据えています。当センターはこのうちの[キュレーション]領域を担う組織として、特に期待が寄せられています。